



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

- 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F (0246) 25-3000
- 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘 (0246) 35-3000
- 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木 東雄 幹事：坂本 佳友 発行：会報・広報委員会

第 2966 例会 (45号) 2015 年 5 月 28 日 (木) 晴

職場訪問例会



街なか野菜工場～ひまわり ふれあい農園

(ひまわり信用金庫本店営業部作町出張所内)

児玉武彦会員の勤務先ひまわり信用金庫が昨年 6 月、旧店舗に LED を活用した水耕栽培の野菜工場を始めたことから、本年度の職場訪問を行いました。

現地では台正昭理事長が出迎え、冒頭のあいさつで開設した経緯などを話していただきました。ひまわり信用金庫は、東日本大震災からの復興支援に役立てようと今回の事業に取り組みました。①起業・創業および経営の多角化を後押しするため、空き工場・空き店舗等の有効活用を図る②地域の第一次産業の振興と風評被害払拭などを図るため、LED 活用の水耕栽培で安全・安心で、安定的な野菜作りを運営する——などが柱になっています。起業・創業を考える人たちに視察してもらい、新たな農園開設をお手伝いする提案型施設です。このため収穫した野菜は販売しないで、各支店の窓口などで顧客へプレゼントしています。

作業用の服、マスクとキャップを身に着け、低細菌状態の栽培室に入って、ひまわり信金の小野寺常務から水耕栽培について詳しい説明を聴きました。現在はグリーンリーフレタスとホウレンソウを栽培していました。播種（はしゅ）から芽を出させ、定植して成長させるそれぞれの過程に応じ、管理システムが導入されています。栽培に必要な二酸化炭素と LED の光の加減など、野菜の品種ごとに考えて取り組んでいました。レタス類に比べ、ホウレンソウは栽培が難しいとのこと。磐城農業高校や福島高専とも連携して技術改良を行っているそうです。

採れ立てのグリーンリーフレタスをいただきました。会員から、露地ものに比べて甘みがある、スツキリして食べやすい、などの感想が上がりました。視察後、藤田博志職業奉仕委員長があいさつし、ひまわり信金の皆さんに感謝を述べました。



水耕栽培を見学



移動例会昼食



2014～2015年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

LIGHT UP ROTARY

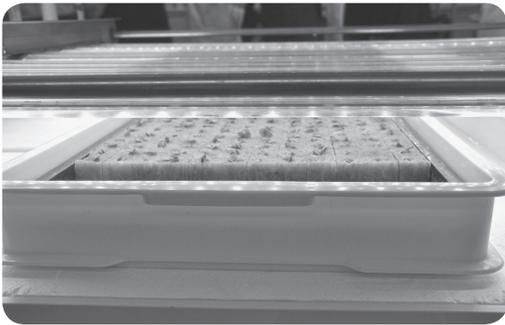
「出席はロータリアンの3大義務の1つです」



ひまわりふれあい農園を説明する台理事長(手前)



小野寺常務から水耕栽培の仕組みを聴く



スポンジに種をまき育苗



LEDを照射し育てるホウレンソウ



室内環境の管理システム



生育中のレタスに触れる会員



採れ立てのレタスを味わう



あいさつする藤田職業奉仕委員長



委員会報告

◆ 出席委員会

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
5月28日	50名	23名	—

◆ 親睦活動委員会

5月24日にサラブレッドCCCで開かれた第2530

地区いわき分区親睦コンペで、いわき平RCは団体4位になりました。

★本日の例会案内 6月4日(木) PM12:30～
 会員卓話 仲沼之博会員
 お食事メニュー=牛ヒレスステーキ 温野菜添え

★次回の例会案内 6月11日(木) PM12:30～
 第4回クラブ協議会
 お食事メニュー=スズキのディグレソース